

特別講演

デジタルデンティストリーの一環としての CAD/CAM

講師：塩田 真先生

日時：平成23年7月17日(日)

場所：熱海ニューフジヤホテル



矢田孔太郎 (滋賀県)

平成23年7月17日第6回全員発表研修会 1日目の午後の部において特別講演「デジタルデンティストリーの一環としてのCAD/CAM」が盛大に行われました。

コンピューター技術の発達は、診査、診断、インプラント埋入、上部構造の作製などインプラント処置のほとんど全てが関連しており、発達によってそれらのあり方が少なからず変容してきている。それは今までの歯科診療をアナログデンティストリーというならば、デジタルデンティストリーの到来と称してもよいほどの変化であり、これによって、対象の表現、保存、伝送の方式はことごとく切り替わりつつある。

ロストワックス法からCAD/CAM法にかわることによりとくに技工技術において変革をもたらすことになった。また、CAD/CAM法は作製方法にとどまらず、使用材料や診断法にも大きな影響をあたえ、さらには事業形態にも展開をもたらす可能性があり時代の流れを強く感じた。

しかしながら、CAD/CAM法は従来法と比較して精度、強度などどうなのであろうかという疑問に対して本日の講演では様々なデータをもとにした結果を明示して頂き大変参考になりました。特に最近の金属代の高沸とも関連して従来品より安価にできるかもしれないというのは大変興味深いものでした。

コンピューター技術の発達は目覚ましく、歯科業界も当然それに呼応して様々な技術、製品が出てきており、学び続けることの大切さを痛感しました。

